



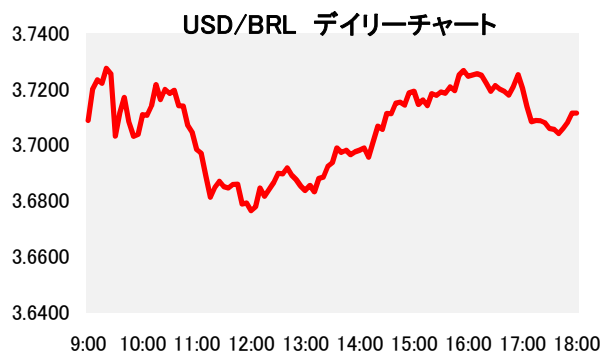
## 1. マーケット・レート

			6月5日	6月6日	6月7日	6月8日	6月11日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3.8090	3.8510	3.9070	3.7080	<b>3.7110</b>	+0.0030
	BRL/JPY	Spot	28.830	28.610	28.08	29.54	<b>29.65</b>	+0.11
	EUR/USD	Spot	1.1714	1.1775	1.1800	1.1769	<b>1.1784</b>	+0.0015
	USD/JPY	Spot	109.82	110.18	109.70	109.55	<b>110.03</b>	+0.48
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	6.865	7.034	7.499	7.178	<b>7.185</b>	+0.007
	Future	1Year(p.a.)	7.335	7.524	7.573	8.045	<b>7.948</b>	-0.098
	On-shore	6MTH(p.a.)	3.745	3.756	3.784	3.923	<b>3.960</b>	+0.036
	USD	1Year(p.a.)	4.039	4.126	4.185	4.376	<b>4.420</b>	+0.044
株式	Bovespa指数		76,641.75	76,117.25	73,851.50	72,942.07	<b>72,307.75</b>	-634.32
CDS	CDS Brazil 5y		236.47	244.67	254.27	251.20	<b>254.00</b>	+2.80
商品	CRB指数		199.186	199.013	199.486	200.038	<b>199.393</b>	-0.65

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインデケーションです。実際のレート提示は弊行担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

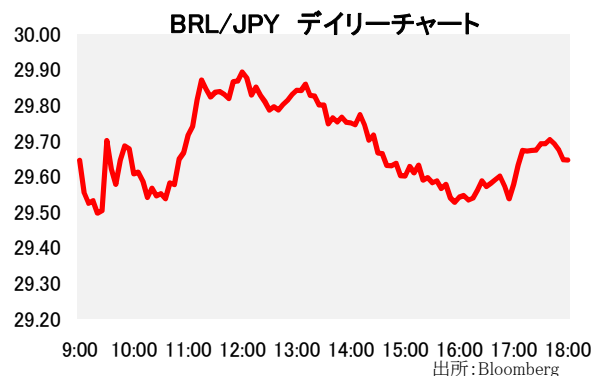
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
FIPE CPI-週次	0.40%	0.57%	0.01%
IGP-M Inflation 1st Preview	1.49%	1.50%	1.12%
貿易収支(週次)	--	\$581m	--



## 3. 要人コメント

なし
----



## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.7090で寄り付き、直後に日中安値3.7270を付けた。伯中銀のドル売り介入を受けてレアルは日中高値3.6750まで上昇。その後は上げ幅を縮め、3.70から3.72台後半のレンジで揉み合う展開が続いた。結局3.7110でクローズ。
- 本日発表されたブラジル中銀によるアナリスト予想集計では、経済成長率予想は2018年が2.18%から1.94%、2019年は3.00%から2.80%へ大幅に下方修正された。インフレ率予想は2018年が3.65%から3.82%、2019年は4.01%から4.07%へ上方修正。年末の為替レートは2018年と2019年ともに3.50レアルで据え置かれた。
- 本日、伯中銀は25億ドルのドル売りスワップ入札を実施した。伯中銀は今週末までに追加のドル売り入札を残り170億ドル行うとしており、先週まで実施していた1日あたり7.5億ドルを含めると今週は合計で207.5億ドルの入札を行う見込み。これを踏まえれば本日の入札は予想よりも小規模となった。レアル相場は底堅さを維持しているものの、明日以降に米FOMCやECB等の重要イベントを控える中、当局の介入姿勢に引き続き注目が集まっている。
- 本日、大統領選挙に関する世論調査が発表され、依然として右派のポウソナロ下院議員(支持率:前回17%⇒今回:19%)が優勢であることが示され、マリナ・シルバ元環境相(支持率変化なし:15%)がそれに続いた。市場に好感されている中道のアルキミン元サンパウロ州知事は全体の4番目(支持率変化なし:7%)に止まった。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいませよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布することはできません。